



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月5日

上場会社名 株式会社ダイセキ 上場取引所 東・名
コード番号 9793 URL <https://www.daiseki.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 哲也
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員企画管理本部長（氏名） 片瀬 秀樹（TEL）052（611）6322
半期報告書提出予定日 2026年10月13日 配当支払開始予定日 2026年10月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	37,492	3.8	8,345	12.0	8,657	13.4	5,805	23.1
2026年2月期中間期	36,117	10.1	7,450	1.6	7,629	△1.1	4,712	△3.4

（注）包括利益 2027年2月期中間期 6,276百万円（21.1％） 2026年2月期中間期 5,179百万円（△3.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	122.77	—
2026年2月期中間期	99.07	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期中間期	109,332	87,803	78.7
2026年2月期	105,176	83,403	77.7

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 86,087百万円 2026年2月期 81,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	36.00	—	40.00	76.00
2027年2月期		43.00			
2027年2月期（予想）			—	43.00	86.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	74,200	3.2	16,800	15.1	17,000	14.2	11,200	22.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期中間期	48,000,000株	2026年2月期	48,000,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	706,634株	2026年2月期	714,476株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年2月期中間期	47,288,273株	2026年2月期中間期	47,569,216株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、A I・半導体関連需要の増加や雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大により緩やかな回復・プラス成長を維持するものの、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰、為替相場の変動などのリスクによる不透明化等により、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済情勢下、グループの主力事業である株式会社ダイセキの工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理事業は、原材料費、販管費の上昇があったものの、リサイクル燃料の原料となる廃液を積極的に獲得したことにより、売上高、営業利益、経常利益は計画を若干下回ったものの、売上高、利益共、過去最高を更新しました。

株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、前期から続く関東地区の大型工場案件、今期受注の中部地区の大型工場案件等により売上高、利益共に計画を上回り、順調に推移しました。

株式会社ダイセキMC Rが手掛ける鉛リサイクル事業は、原材料費などの上昇の影響等はあったものの、今期から実施できた価格改訂の効果もあり、売上高、利益共、計画を上回りました。

システム機工株式会社が手掛ける大型タンク等の洗浄事業は、一部案件が下期に後ろ倒しとなったことにより、売上高・利益共に計画を下回りました。

当社グループは、今後の事業拡大のために、引続き人材確保ならびに教育を強化し、環境創造企業として「限られた資源を活かして使う『環境を通じ社会に貢献する環境創造企業』」というパーパスを重視した経営を行うことにより、地域社会から愛される企業を目指してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高37,492百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益8,345百万円(同12.0%増)、経常利益8,657百万円(同13.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益5,805百万円(同23.1%増)となり、売上高、利益共、過去最高の業績となりました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は109,332百万円と前連結会計年度末に比べ4,155百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が117百万円減少したものの、現金及び預金が1,644百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,292百万円、投資有価証券が559百万円、棚卸資産が490百万円、有形固定資産が393百万円それぞれ増加したことによりです。負債は21,528百万円と前連結会計年度末に比べ244百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が720百万円増加したものの、流動負債その他が601百万円、長期借入金が447百万円それぞれ減少したことによりです。純資産は87,803百万円と前連結会計年度末に比べ4,400百万円増加いたしました。これは主に利益獲得等により利益剰余金が3,914百万円、その他有価証券評価差額金が387百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月7日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,398	20,042
受取手形、売掛金及び契約資産	13,991	15,283
電子記録債権	1,319	1,355
棚卸資産	2,277	2,767
その他	599	568
貸倒引当金	△10	△12
流動資産合計	36,576	40,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,991	16,275
機械装置及び運搬具(純額)	6,571	6,267
土地	29,722	29,742
建設仮勘定	890	1,286
その他(純額)	924	921
有形固定資産合計	54,100	54,493
無形固定資産		
のれん	675	645
顧客関連資産	752	719
その他	346	336
無形固定資産合計	1,774	1,700
投資その他の資産		
投資有価証券	7,063	7,622
長期預金	3,500	3,500
繰延税金資産	1,508	1,390
その他	657	622
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	12,725	13,132
固定資産合計	68,600	69,327
資産合計	105,176	109,332

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,180	3,248
電子記録債務	1,226	1,045
短期借入金	2,660	3,380
1年内返済予定の長期借入金	901	896
未払法人税等	2,784	2,905
賞与引当金	807	906
その他	4,427	3,826
流動負債合計	15,987	16,208
固定負債		
長期借入金	3,524	3,077
役員退職慰労引当金	297	285
退職給付に係る負債	1,333	1,375
繰延税金負債	248	231
その他	381	349
固定負債合計	5,785	5,319
負債合計	21,773	21,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	1,488	1,491
利益剰余金	76,162	80,077
自己株式	△2,761	△2,728
株主資本合計	81,272	85,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	479	867
退職給付に係る調整累計額	△5	△2
その他の包括利益累計額合計	473	864
非支配株主持分	1,657	1,716
純資産合計	83,403	87,803
負債純資産合計	105,176	109,332

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	36,117	37,492
売上原価	24,192	24,578
売上総利益	11,924	12,914
販売費及び一般管理費	4,474	4,568
営業利益	7,450	8,345
営業外収益		
受取利息	57	57
受取配当金	19	26
受取保険金	21	7
受取補償金	25	8
補助金収入	15	66
匿名組合投資利益	—	93
その他	65	94
営業外収益合計	204	353
営業外費用		
支払利息	20	32
自己株式取得費用	2	0
その他	2	9
営業外費用合計	25	41
経常利益	7,629	8,657
特別利益		
固定資産売却益	33	27
特別利益合計	33	27
特別損失		
固定資産売却損	18	0
固定資産除却損	96	91
固定資産圧縮損	—	53
特別損失合計	114	145
税金等調整前中間純利益	7,548	8,540
法人税、住民税及び事業税	2,537	2,732
法人税等調整額	△175	△77
法人税等合計	2,362	2,654
中間純利益	5,185	5,885
非支配株主に帰属する中間純利益	472	79
親会社株主に帰属する中間純利益	4,712	5,805

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	5,185	5,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	387
退職給付に係る調整額	△44	2
その他の包括利益合計	△6	390
中間包括利益	5,179	6,276
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,718	6,196
非支配株主に係る中間包括利益	460	79

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社連結子会社である株式会社ダイセキ環境ソリューションが、経済産業省による「中堅・中小・スタートアップ企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」の5次公募に採択され、補助金の交付が決定されました。

(1) 事業名

静岡市におけるプラスチック資源再商品化事業

(2) 補助金の交付額

2,918百万円

(3) 損益に与える影響

補助金の額は、補助事業完了後の審査等の結果により、変動する可能性があります。2030年2月期において、国庫補助金等による圧縮記帳処理を行い、補助金受取による特別利益及び圧縮記帳による特別損失を計上する予定であります。